

2022年3月期 第2四半期 連結決算ハイライト (日本基準)

- 売上高、営業利益、経常利益ともに増収増益。
- 中間期における過去最高業績を更新。

		(%表示は対前年同四半期増減率)
◇ 売上高	34,064 百万円	8.2 %
◇ 営業利益	6,074 百万円	21.3 %
◇ 経常利益	6,128 百万円	19.3 %
◇ 親会社株主に帰属する四半期純利益	4,187 百万円	20.4 %

損益の状況						
(単位: 百万円)	2022/3期 第2四半期	2021/3期 第2四半期	前年同期比	増減率(%)	2022/3期 通期 業績予想	進捗率(%)
	売上高	34,064	31,478	2,585	8.2	69,000
売上総利益	10,626	9,528	1,098	11.5	-	-
販売費及び一般管理費	△ 4,552	△ 4,518	△ 33	0.7	-	-
営業利益	6,074	5,009	1,065	21.3	12,250	49.6
営業外収益	55	127	△ 72	△ 56.7	-	-
営業外費用	△ 1	△ 1	0	52.3	-	-
経常利益	6,128	5,136	991	19.3	12,300	49.8
特別利益	5	2	3	143.6	-	-
特別損失	△ 4	△ 0	△ 3	466.2	-	-
税金等調整前四半期純利益	6,129	5,137	991	19.3	-	-
法人税等	△ 1,946	△ 1,659	△ 287	17.3	-	-
四半期純利益	4,183	3,478	704	20.2	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,187	3,478	708	20.4	8,300	50.4

■ 売上高
売上高は、340億6千4百万円となり、働き方改革および新型コロナウイルス感染症対策の環境の構築やゼロトラストネットワーク時代に沿ったセキュリティソリューションに加え、3K(スリーケー)※1を中心としたサービスビジネスの更なる拡販を図ったことで、前年同期比25億8千5百万円(前年同期比8.2%増)の増収。

■ 利益
営業利益は、60億7千4百万円となり、前年同期比10億6千5百万円(前年同期比21.3%増)の増益。経常利益は、61億2千8百万円となり、前年同期比9億9千1百万円(前年同期比19.3%増)の増益。親会社株主に帰属する四半期純利益は、41億8千7百万円となり、前年同期比7億8百万円(前年同期比20.4%増)の増益。

※1 3K(スリーケー): 「KEL Briefing Center (KBC)」、「KEL Custom Cloud (KCC)」、「KEL Managed Service (KMS)」から成るサービスビジネス群

1株当たり四半期純利益 (円)	146.36	121.62	24.74	20.3
-----------------	--------	--------	-------	------

セグメント情報						
(単位: 百万円)	売上高			セグメント利益		
	2022/3期 第2四半期	2021/3期 第2四半期	前年同期比	2022/3期 第2四半期	2021/3期 第2四半期	前年同期比
システム事業	24,231	22,157	2,073	3,922	3,169	753
サービス・サポート事業	10,070	9,554	516	2,089	1,834	254
計	34,302	31,711	2,590	6,011	5,003	1,008
その他(含む調整額)	△ 238	△ 232	△ 5	62	6	56
合計	34,064	31,478	2,585	6,074	5,009	1,065

■ システム事業
ストレージ関連事業やネットワークセキュリティ関連事業が堅調に推移したことなどにより、前年同期比20億7千3百万円(前年同期比9.4%増)の増収。

■ サービス・サポート事業
システム運用ビジネス関連およびクラウドサービス関連の売上が増加したことなどにより、前年同期比5億1千6百万円(前年同期比5.4%増)の増収。

資産・負債及び純資産の状況				
(単位: 百万円)	2021/9末	2021/3末	前期末比	増減率(%)
総資産	78,006	75,164	2,841	3.8
流動資産	71,487	68,981	2,506	3.6
固定資産	6,518	6,183	334	5.4
負債	19,415	18,749	665	3.6
流動負債	16,974	16,303	671	4.1
固定負債	2,440	2,446	△ 5	△ 0.2
純資産	58,590	56,415	2,175	3.9
自己資本 (注1)	58,544	56,361	2,183	3.9
自己資本比率 (注2)	75.1%	75.0%	0.1pt改善	-

■ 資産
流動資産は、棚卸資産が10億5千1百万円、受取手形及び売掛金が6億1千1百万円増加したことなどにより、前期末比25億6百万円(前期末比3.6%増)の増加。
固定資産は、投資有価証券が4億7千9百万円増加したことなどにより、前期末比3億3千4百万円(前期末比5.4%増)の増加。

■ 負債
流動負債は、支払手形及び買掛金が6億9千万円増加したことなどにより、前期末比6億7千1百万円(前期末比4.1%増)の増加。
固定負債は、概ね前期末並み(前期末比0.2%減)。

■ 純資産
純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益41億8千7百万円の計上による増加と、配当金20億2百万円の支払いによる減少などがあり、当第2四半期では、前期末比21億7千5百万円(前期末比3.9%増)の増加。
この結果、自己資本比率は75.1%となり、前期末比0.1ptの改善。

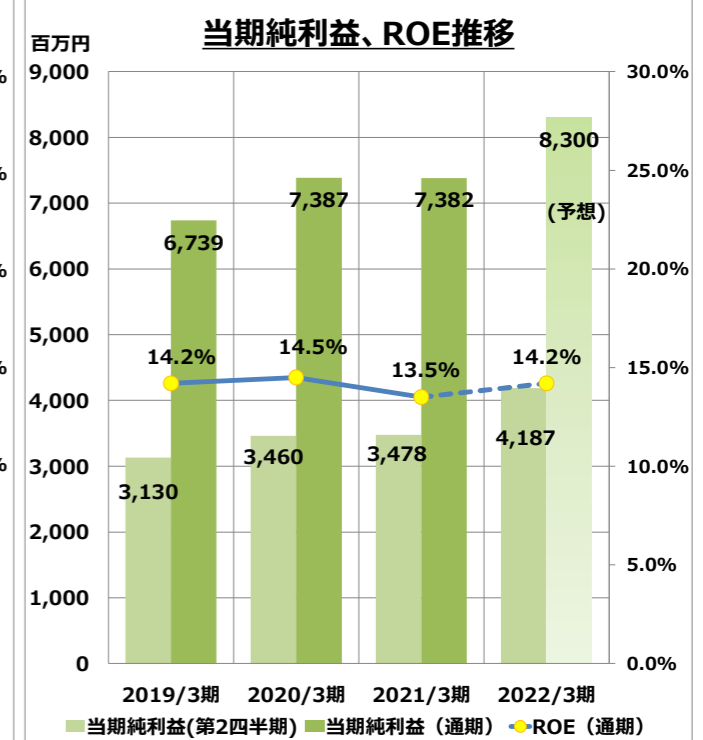
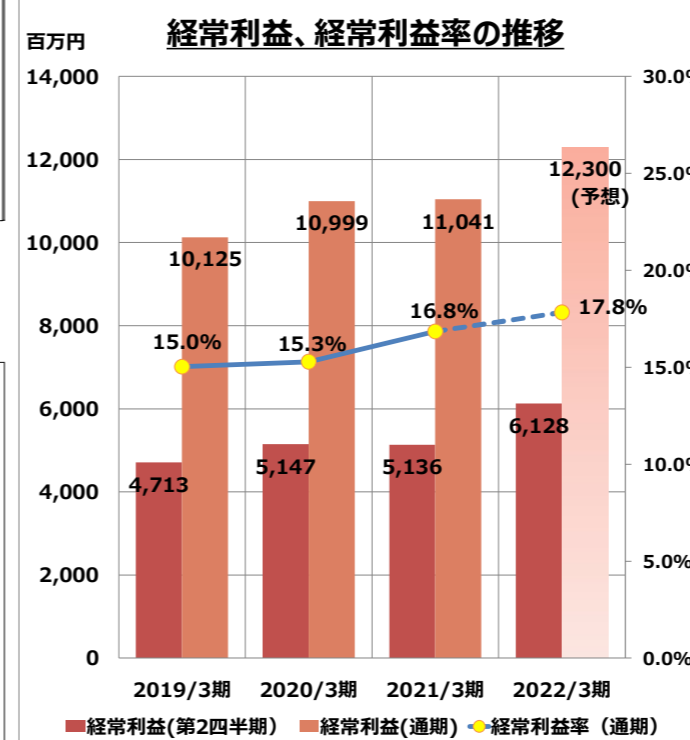
(注1)自己資本=純資産の「株主資本合計」+「その他の包括利益累計額合計」 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産

キャッシュ・フローの状況			配当の状況	
(単位: 百万円)	2022/3期 第2四半期	2021/3期 第2四半期	2022/3期	2021/3期
営業活動によるCF	3,386	3,101	75円	65円
投資活動によるCF	△ 785	△ 512	70円(予想)	70円
フリーキャッシュ・フロー	2,601	2,588	145円(予想)	135円
財務活動によるCF	△ 2,003	△ 2,003	自己資本(百万円)	56,361
現金及び現金同等物の増減額	601	582	配当性向(%)	52.3
現金及び現金同等物の期末残高	47,479	43,592		

■ 営業活動によるCF
営業収入の積上げ、営業債権の回収などにより、33億8千6百万円のキャッシュ・イン。

■ 投資活動によるCF
投資有価証券、有形及び無形固定資産の取得などにより、7億8千5百万円のキャッシュ・アウト。

■ 財務活動によるCF
配当金の支払いなどにより、20億3百万円のキャッシュ・アウト。



*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。